

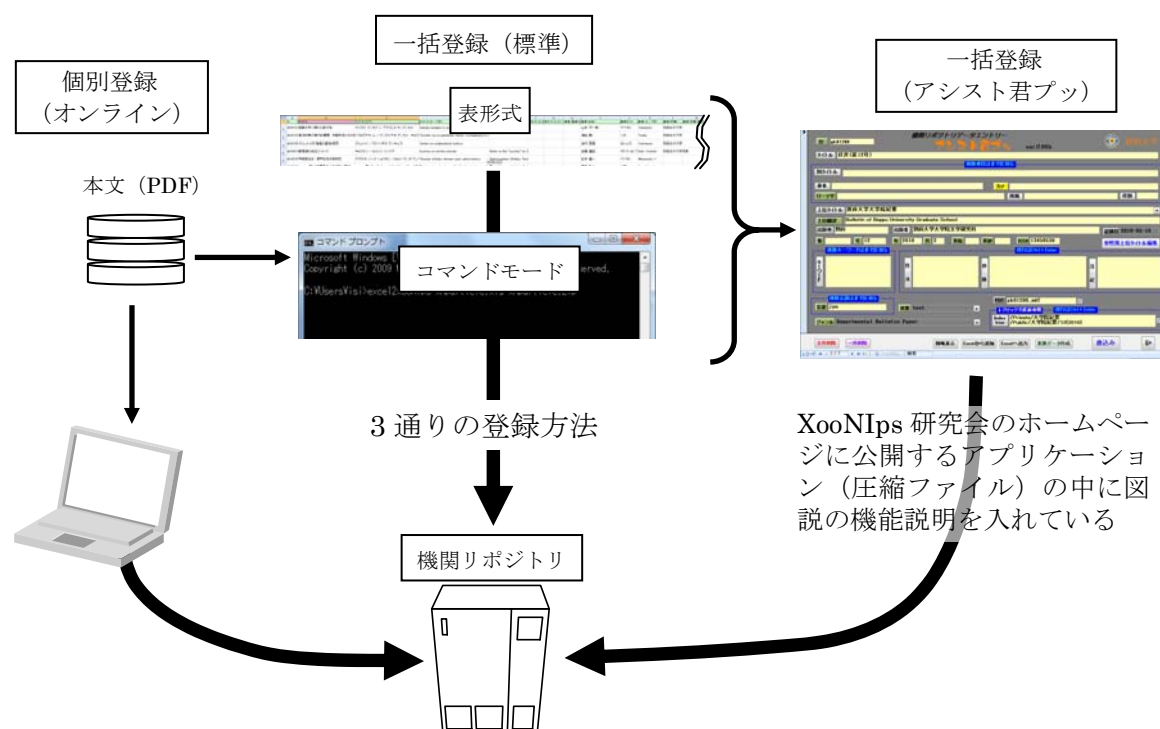
『アシスト君プツ』によるコンテンツ作成の効率化

ー やってみよう！個別登録と一括登録 ー

別府大学 石井保廣

1. 登録方法比較

3通りの方法を説明しているが、一括登録（アシスト君プツ）は一括登録（標準）の改良型ともいえるので、実際にはオンライン登録とバッチ登録の違いと見ることができる。



いずれの方法でも、初めてリポジトリを公開する際に、どのようなコンテンツの公開方法を採用するかコンテンツの配列と構成を決める必要がある。XooNIps では、インデックス・ツリーという。一般的には、雑誌のタイトル・巻号ごとに構成されたサイトが多い。事前に、このインデックス・ツリーを作成しておく。

(1) 個別登録

オンラインで1件1件登録する。DSpace と異なる点として、登録画面を1画面に納めている。このため、上下にスクロールしながら登録し、1件ごとに公開の許可を出す。それぞれのメタデータ (アイテム) の格納場所とインデックス・ツリーとの整合性にも注意する。

(2) 一括登録 (標準)

Excel 上で、コンテンツを作成し、別に用意した本文 (PDF) を理化学研究所提供の excel2xoonips で処理し圧縮 (zip 形式) ファイルを作成のうえアップロードする。Excel で操作するため、一括追加や一括編集ができるが、長い表 (1行当たり 52列) であるため

何回も横スクロールしなければならず見通しが悪い。また、excel2xoonips はコマンドモードで操作するため、ある程度の知識が必要である。

(3) 一括登録 (アシスト君プツ)

一括登録 (標準) を使い易くするためアプリケーション「アシスト君プツ (AssistXnp)」を Access VBA で作成した。特徴は、1 画面内に一般的に必要なと思われる項目 + α とし、漢字モードの設定やプルダウンメニューによる上位タイトル情報の参照機能など入力支援 (Assist) と excel2xoonips も、このアプリケーション内に取り込みコマンドモードの煩わしさを軽減するようにした。実際にアルバイト学生達に使ってもらっているが、登録作業の効率が大幅に向上したとの評価であった。

2. アシスト君プツでの登録の実際

「アシスト君プツ」の使用にあたって、初期設定や起動ごとの設定のほか、他の方法と同様にサーバ上でのインデックス・ツリーの設定が必要である。

(1) 初期設定

①作業フォルダの作成とパスの設定

固定したディレクトリとして、C: ドライブの直下に作業用 `cnv2zip` (フォルダ名固定) フォルダを作成しパスをとおす。(パスの設定後、一旦再起動する)

②上位タイトル (雑誌名) の設定

入力手数を軽減するため、プルダウンで選択した上位タイトルを参照し、上位翻訳、出版地、出版者、ISSN に張り付けるので、上位タイトル情報を「参照用上位タイトル編集」画面で大学の紀要・研究報告等のデータを作成しておく。

③インデックス・ツリーの作成

該当の場所に登録するため、XooNIps サーバに /Private と /Public の階層下にインデックス・ツリーを作成しておく。

(2) 起動時の設定

①セキュリティの設定

Microsoft の VBA (Visual Basic Applications) はセキュリティチェックにかかるため、起動時にアプリケーションの実行を許可する。この時、Office2007 や Office2010 と Office2003 ではセキュリティの表示形式が異なるので注意する。

②漢字モード

漢字モードを使うケースが多い項目は、項目のラベル (見出し) をクリックし、漢字モードにしておくと、その都度漢字モードを切り替える煩わしさから解放される。

③不要項目の設定

本文ファイル (PDF) を別途登録する場合やインデックス・ツリーを Excel 上やサーバ上で別途設定する場合は、それぞれの入力フレームのチェックボックスのチェックをはずし、入力できないようにすることができる。

(3) 登録手順

①メタデータを登録

「アシスト君プッ」の画面上で必要事項を入力する。(1回当たりのコンテンツ数は、処理時間や保守の観点からも50個程度以下に抑えたほうがよいだろう)

②Excel への変換

「Excel へ出力」ボタンで Excel 形式のメタデータを、初期設定で作った `cnv2zip` フォルダに出力する。この時、ファイル名は `xnp.xls` (この形式は「Excel からの追加」ボタンで再使用ができる) と固定したファイル名となり、以前に作成した Excel データが残っていれば上書きされる。このため Excel 形式を保存する場合は、事前に `rename` して別途保存しておく。また、次④のアップロードファイル作成処理の前に、Excel 上で変換後の `xnp.xls` を編集することもできる。

③本文ファイルのセット

本文 (PDF) ファイルは、「アシスト君プッ」で設定したファイル名 (`ID+.pdf` または別途設定のファイル名) の PDF を事前に作業フォルダ (`cnv2zip`) に入れておく。

④アップロードファイル作成

「変換データ作成」ボタンをクリックすると、コマンドモードの `excel2xoonips` が起動し、Excel への変換②で作成した `xnp.xls` から、アップロード用圧縮ファイル `xnp.zip` が作成される。成功したら、プロンプトのところで `exit` と入力するか、右上の [×] で終了する。この時、`xnp.zip` が作成されていない場合は、どこかに入力ミスがあるのでチェックし、Excel 上で修正し、再度②、④を実行する。

a. アップロードファイル成功例

```

C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
[info] Excel file "xnp.xls" was loaded.
[info] - 1 sheets found in loaded file.
[info] - 14 items found in sheet "xnparticle".
[info] Success to create XoonIps import file "xnp.zip".
c:\cnv2zip>
  
```

14個のインポート用アイテムが作成された

b. よくある失敗例1・・・Invalid Cell (Ix)

```

[info] Excel file "xnp.xls" was loaded.
[info] - 1 sheets found in loaded file.
ERROR: Invalid Cell(I12) Found in Sheet "xnparticle". Array Size Mismatch.
c:\cnv2zip>
  
```

ここに注目 (Excel 上で I 列 12 行目を表わす)

`Ix` は I 列 (著者) の `x` 行 (この例では 12 行目) を示し、著者関係グループの項目で、複数著者のデリミタ “#” の数が合わない。著者に関する項目は、著者 ID、著者、カナ、所属など 8 項目あり、空白となる項目についても、複数著者の場合は、その数だけ “#” を入れる必要がある。(「アシスト君プッ」は画面に表示されない著者グループの項目には、自動的に “#” を挿入し整合性をとる)

c. よくある失敗例 2・・・Invalid Cell (BZx)

Invalid cell (BZx) の場合、Index Tree の不整合時に起きる。“/” や大小文字を含めサーバとの整合が必要。(実際には BZ 列は無いが excel2xoonlps はこの表示となる)

d. よくある失敗例 3・・・Invalid Cell (AWx)

当方で、一番多い失敗例である。Excel 上の AW 列は、本文 (PDF) ファイルである。この項目の内容と作業用フォルダ (cnv2zip) にセットされた PDF ファイル名の記入ミス、PDF ファイルが無いなど不整合が起きている。

⑤サーバへの登録

操作権限をもつアカウントから、④で作成した圧縮ファイル xnp.zip を①～④の手順で XooNlps サーバに登録する。

The screenshot shows the XooNlps web interface with the following annotations:

- ここをチェックしないとアップしたコンテンツを1件ごと確認して公開することが必要となる㉔** (If you don't check this, you will need to confirm each uploaded content item before publishing it.)
- 準備ができたからクリック㉕** (Click when ready.)
- 参照ボタンで㉔で作成した圧縮ファイルを指定する㉖** (Specify the compressed file created in step 4 using the reference button.)
- ここをクリックしてインポート画面(この画面)を出す㉗** (Click here to bring up the import screen (this screen).)

3. 再編集

登録したコンテンツが正しくない場合は何度でも再編集ができる。注意すべき点は、すでに Nii にハーベストされたものについては、ID をもとに新規・修正・削除を判断しているようなので、ID を変更しないようにする。

(1) サーバ上にある修正すべきデータを一括削除する

削除の範囲は、ユーザーごとに/Private の該当フォルダごとが 1 単位となる。1 単位がまるごと削除されるため、入念な確認が必要である。

管理者 (モデレータ) でログインし、管理者メニュー → [左ブロックの] XooNlps → メンテナンス → アイテム管理 → アイテム一括削除 → プルダウンメニューでユーザーを指定 → [Private の] のインデックスを選択 → 削除ボタンを押す

(2) 修正する

登録手順②で作成した xnp.xls は、「Excel からの追加」ボタンで「アシスト君プッ」に取り込み再編集し、「変換データ作成」ボタンでアップロードファイルの再作成ができる。(既存のデータに追加されるので、事前に「全件削除」ボタンでクリアしておく)